

平成26年度 事業計画書

平成26年3月

公益財団法人 長崎県健康事業団

平成26年度 事業計画

平成26年度は、公益財団法人として2年目の年であり、より一層公益目的事業の推進を行い、県民の公衆衛生の向上に、取り組んでいく。

具体的には、県民の疾病予防・健康の保持増進、救急医療の充実、円滑な腎臓等臓器移植の推進を図るため、県や市町・長崎大学・県医師会等関係機関のご指導とご協力を得ながら健康診断事業や病理診断及び各種検査を行うとともに、救急医療情報システム運営事業及び腎不全対策事業を実施する。

(1) 健康診断の推進

広く不特定多数の県民の健康診断の受診機会の拡大が図られるよう、県・各市町や地元医師会等と連携しながら、特定健診、各種がん検診、結核検診、学校検診、職域検診、先天性代謝異常検査、がん細胞等の病理検査などの健診検査を実施し疾病の予防対策や病気の早期発見等に寄与していくとともに、健診データの調査分析、研究を行い地域性や時代背景を踏まえた情報発信を行っていく。

また、「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」に基く受診勧奨事業などへの協力を積極的に行う。なお、無料クーポン券を配付された、住民に対してのがん検診実施に貢献していく。

なお、新たな事業として、県内の小規模事業所に係る健診受診率の向上等のため「職場の健康づくり応援事業」を長崎県より委託を受け実施する。

(2) 精度管理の充実と健診サービスの向上

質の高い、健康診断事業や各種検査を行うために、下記の項目を実施する。

- ① 健診・検査機関として、重要な個人情報を取扱うため、平成24年11月に更新された「プライバシーマーク」管理体制を維持し、職員への個人情報保護の教育・研修会等を開催し、さらなる個人情報の適正な取得・利用・管理に取り組む。
- ② 精度管理については、労働衛生サービス機能評価機構の優良認定施設として認定を受けており、今年度も各種研修会に技術職員等を計画的に参加させ、最新の健診技術、人材の育成、機器の管理、システムの充実を行い質の高い健診に努める。

また、平成25年度でX線撮影装置のデジタル化を完了したことで、今後は災害時における画像データなどのバックアップ体制を充実するとともに画像データの一元管理の強化を行い、過去画像との比較読影がよりスピーディーかつ容易にできるようシステムの構築を行っていく。

③ 長崎県より委託を受けた「がん検診事業評価及びがん検診精度管理事業」により、がん検診の各種データを整理・分析して各指標を作成するとともに、全国との比較分析を行い、県のホームページとリンクさせ公表する。

また、平成24年度から受託している「がん検診精度管理医師等研修会」の開催等の業務を行う。

④ 当事業団で実施した「がん検診」の要精密受診者について、病院での受診状況を確認するとともに、未受診者に対し受診勧奨を実施する。

(3) 救急医療対策の実施

「救急医療情報システム」の管理運営を行うとともに、救急搬送患者の状況を解析するため、救急搬送事後検証票のデータ入力・集計を行う。

(4) 腎不全対策の実施

協力医療機関・日本臓器移植ネットワーク等と連携して臓器提供について協力依頼を行うとともに、出前講座・街頭キャンペーン・臓器提供意思表示カードの配布等による啓発活動を行う。

(5) 普及啓発事業

① 結核予防週間（9月24日～9月30日）

結核予防のための、パンフレット・ポスターの配布、パネル・ビデオなどの資材貸出しなどを行う。

② がん征圧月間（9月1日～9月30日）

がん予防のための、パンフレット・ポスターの配布、パネル・ビデオなどの資材貸出しなどを行う。また、ピンクリボン活動（乳がん予防啓発活動）への協力を積極的に行う。

③ 県民の「特定健診」や「がん健診」の受診率アップ対策として、受診率向上ポスターを当事業団独自に作成し、公共交通機関など各地域の検診時期にあわせてポスターを掲示する。また、「がん総合デジタル検診車」を積極的に活用し各種広報活動を実施し受診率向上対策に努める。

④ 平成26年2月にリニューアルしたホームページにおいて当事業団の活動及び健康に関する情報発信などの広報活動を進めていく。

(6) 「健診・検査年間計画」は、次のとおりである。

《健診・検査年間計画》

(単位：人)

| 健診・検査項目 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 実績見込(a) | 見込(b) | 増減(b-a) |
| 一般検診 | 246,109 | 249,764 | 260,311 | 261,500 | 259,440 | ▲ 2,060 |
| 特定健康診査 | 38,080 | 39,648 | 48,432 | 44,870 | 44,870 | 0 |
| 事業所健診 | 81,515 | 83,365 | 83,859 | 89,610 | 89,610 | 0 |
| 胸部検診(学校・施設) | 27,850 | 26,122 | 25,690 | 24,430 | 24,430 | 0 |
| 胸部検診(結核・肺がん) | 41,598 | 38,625 | 42,044 | 40,980 | 39,320 | ▲ 1,660 |
| 原爆健診 | 6,497 | 6,497 | 5,944 | 5,530 | 5,130 | ▲ 400 |
| 学童健診 | 50,569 | 55,507 | 54,342 | 56,080 | 56,080 | 0 |
| 胃がん検診 | 29,240 | 26,730 | 29,146 | 28,330 | 28,330 | 0 |
| 子宮がん検診 | 19,513 | 18,556 | 17,943 | 16,430 | 16,430 | 0 |
| 乳がん検診 | 20,521 | 19,364 | 18,820 | 19,330 | 19,330 | 0 |
| 大腸がん検診 | 34,801 | 33,727 | 36,917 | 36,670 | 36,670 | 0 |
| 骨粗鬆症予防健診 | 2,638 | 2,907 | 3,265 | 3,190 | 3,190 | 0 |
| 腹部超音波検査 | 5,308 | 3,888 | 7,229 | 7,150 | 7,150 | 0 |
| 健診小計 | 358,130 | 354,936 | 373,631 | 372,600 | 370,540 | ▲ 2,060 |
| 前年比 | - | 99.1% | 105.3% | 99.7% | 99.4% | - |
| 病理診断 | 5,872 | 5,824 | 5,313 | 5,240 | 5,240 | 0 |
| 先天性代謝異常検査 | 13,306 | 13,270 | 12,926 | 12,930 | 12,930 | 0 |
| 検査小計 | 19,178 | 19,094 | 18,239 | 18,170 | 18,170 | 0 |
| 総合計 | 377,308 | 374,030 | 391,870 | 390,770 | 388,710 | ▲ 2,060 |

資金調達及び設備投資の見込について

(1) 資金調達の見込について

▼長期借入金

当期中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込について

▼当期中の重要な設備投資

| 設備投資の内容 | 予定額 | 資金調達方法 又は取得資金の用途 |
|----------------------|--------------|---------------------|
| 所内胸部デジタル撮影 装置（1台） | 16,200,000 円 | 自己資金 |
| 健診機器搬送 車両（1台） | 3,000,000 円 | 自己資金 |
| 健診機器更新 | 20,000,000 円 | 自己資金 |
| 計 | 39,200,000 円 | |